



# みらいへつなごう ～ちょうふのかんきょう～

2018 年度版  
2018.10 月 発行  
刊行物登録番号  
2018-127

●発行：調布市環境部環境政策課  
●連絡先：電話：042-481-7086（直通） F A X：042-481-7550  
メールアドレス：kankyouto@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、<sup>かんきょう</sup>環境情報を提供しています

この情報誌は、中学生のみなさんに、調布市の<sup>かんきょう</sup>環境について、よりよく知っていただくことを目的に作成しています。

## 調布の川とその<sup>かんきょう</sup>環境

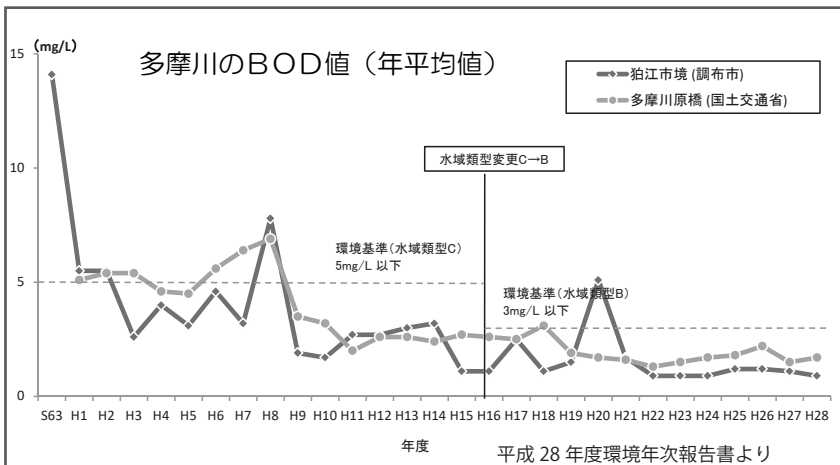
川の水質・川の生きもの …… 1	市の取組 …… 3
川に関わる問題 …… 2	私たちができること …… 4



### 川の水質

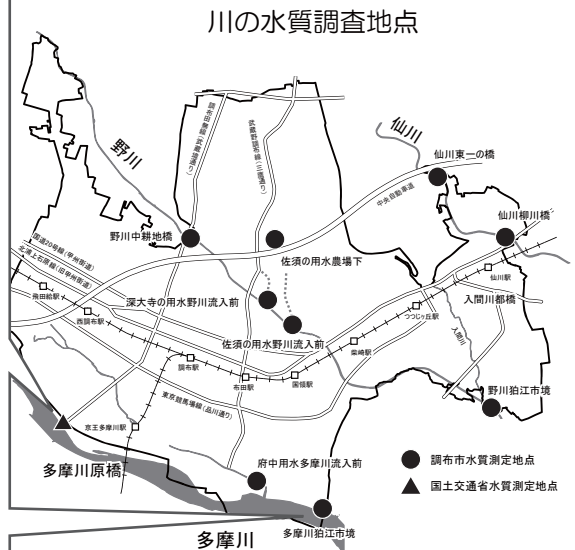
調布市には大きく分けて4本の川、「多摩川」「野川」「仙川」「入間川」が流れています。また、用水などの小さな流れ、<sup>ゆうすい</sup>湧水なども多くあり、水と親しめる場所が多くあります。

調布市内の数か所で水質を調査しています。かつては水質が悪かった時期もありますが、最近ではおおむね<sup>かんきょう</sup>環境の基準値を満たした水質となっています。



### BODって？

川のきれいさを測る指標の一つで、<sup>びん</sup>微生物が水中の<sup>けい</sup>汚れを食べるときにつかう<sup>さん</sup>酸素の量を示します。この値が大きいほど川が汚れているといえます。



### 川の生きもの

調布の川には魚や水辺の<sup>こんちゆう</sup>昆虫、水辺に飛来する鳥や、<sup>かせんじき</sup>河川敷の草花など、いろんな種類の生きものが生息しています。





# 川に関わる問題

調布を流れる水辺の環境について、いくつか心配されていることがあります。ここでは野川の水涸れと生態系の問題を取り上げます。

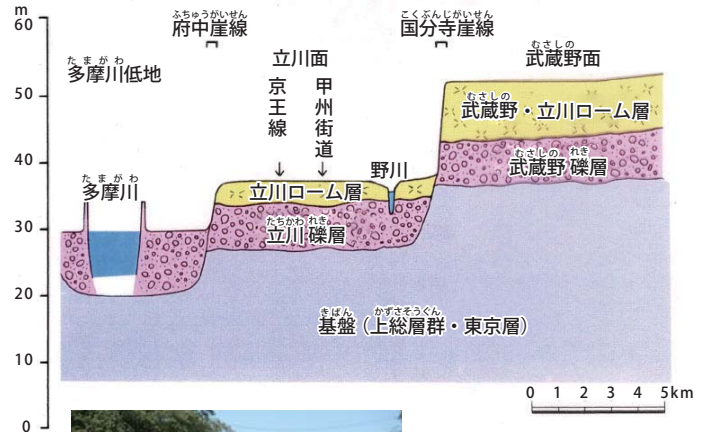
## 野川の水涸れ

市内を流れる野川は、集水域（降った雨が川に流れ込む範囲）が多摩川に比べると狭いこともあり、雨が少ない年には川底が見えるくらいに水量が減ることがあります。

これは川に流れ込む雨の量が少ないことに加え、川の水源となっている国分寺崖線からの湧水が減っていることも原因として挙げられます。

湧水とは降った雨が一度地下に浸透し、崖線などから湧き出してくる水のことで、

調布市の湧水は、これまでは雨水が武蔵野台地の土に降った雨が地下に浸透し、国分寺崖線から出ていたが、市内の宅地化が進み、コンクリートなどで土がおおわれたことなどから、地下に浸透する雨の量が減ったことにより、湧水も減少しています。



水量が減って川底が見えている野川 (2017年)

## 生態系への影響

外来種とは、もともとはいなかった地域に、人間によって持ち込まれた生きもののことをいいます。

こうした外来種は持ち込まれた地域にももともといた生きものと環境との関係でつくられてきた自然のバランス（生態系）に悪影響を与えることが心配されています。

外来種の中でも様々な被害をおよぼす、またはそのおそれがある生物を「特定外来生物」といいます。

調布市の河川敷にもアレチウリなどの特定外来生物が繁殖し、生態系への影響が心配されています。



アレチウリ

### 生態系への影響

外来種（もともとその地域にいた生きもの）が追いやられるなど自然のバランスがくずれてしまうことがあります。

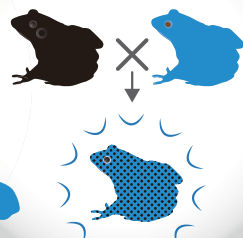
【捕食】  
外来種をたべる



【競争】  
在来種の生息・生育環境を奪ってしまったり、餌の奪い合いをする



【遺伝的攪乱】  
近縁の在来種と交雑して雑種をつくる



環境省 外来種問題普及啓発パネルより



## 市の取組

紹介した問題を解決するため、また、多摩川を中心とした市内の自然環境を多くの方に知ってもらうため、市が行っている取組の一部を紹介しします。

### 雨水浸透ますの設置（湧水を増やそう！）

雨水浸透ますとは、屋根に降った雨水を雨どいをとおして集め、地下に浸透させるための設備です。

屋根に降った雨水は、雨どいを伝って下水に流れてしまいますが、浸透ますを設置することにより、雨水を地下に戻すことができます。

こうすることで湧水を復活、維持させるとともに、大雨時の浸水被害を軽減することにもつなげています。

市では雨水浸透ますの設置を無料で行っています（詳細は環境政策課にお問い合わせください。）



### 多摩川の外来植物駆除（生物多様性を保全しよう！）

多摩川の生物多様性を保全するため、生態系に悪影響を及ぼす、アレチウリやオオカワヂシャ、オオキンケイギクなどの特定外来生物の駆除活動を行っています。



活動の様子

6月、9月頃の年2回実施していますので、ぜひ来年度参加してください。



オオカワヂシャ

オオキンケイギク

### 多摩川クリーン作戦（川をきれいにしよう！）

多摩川を「きれいな、親しまれる川」にすることを目的に河川敷をのゴミ拾い活動を、団体、市民の方々と実施しています。

＜秋の多摩川クリーン作戦を開催します＞  
平成30年11月11日（日）午前8時から午前9時まで

詳細は市報（10月20日号）や市ホームページでお知らせしていますので、ぜひ参加してください。



活動場所と集めたごみ（平成29年11月）

### 調布市多摩川自然情報館（調布市の自然を知ろう！）

調布市多摩川自然情報館は、多摩川を中心とした市内の自然環境を紹介する環境学習施設です。

館内には多摩川の魚や植物、昆虫などの実物が見られる展示室や、多摩川のミニ生態系を再現したいきものプール、自然環境に関する本をそろえた学習室があり、水辺の生きものや外来生物のことが、よくわかる施設です。

月ごとのイベントなども行っていますので、ぜひ訪れてください。

- ・入館料金 無料
- ・開館日時 毎日午前9時から午後5時まで（年末年始、臨時休館日を除く）
- ・場所 調布市染地3-8-26

詳細は多摩川自然情報館でホームページを検索！

多摩川自然情報館

検索



# 調布市いきものフォトコンテスト（調布市の自然を知ろう！）

市内の自然環境の再発見と、生物多様性への理解を深める目的で、「調布市いきものフォトコンテスト2018」を開催しています。

市内に生息する野生の生き物を主体とした写真を募集し、応募作品を調布市多摩川自然情報館で展示します。

応募作品の中から来館者の投票や専門家の評価などにより入賞作品を決定しています。

平成30年11月30日（金）まで応募できます。



【市内部門】多摩川自然情報館大賞（2017）  
花陰に



【多摩川部門】多摩川自然情報館大賞（2017）  
コケをはがして～～ポイ！

詳細は「調布市いきものフォトコンテスト2018」でホームページを検索！

調布市いきものフォトコンテスト2018

検索



## 私たちができること

紹介した問題を解決するために、私たちには何ができるでしょうか？  
ここでは皆さんができることの一部を紹介しします。

### 川の水をきれいに保つには…

油を下水に流さない



料理で残った  
いらぬ油は、  
紙などでふき  
とりましょう。

ごみを下水に流さない



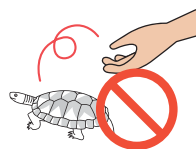
野菜の切りく  
ずなどを下水に  
流さないよう、  
三角コーナーな  
どを活用しま  
しょう

ごみを川に捨てない



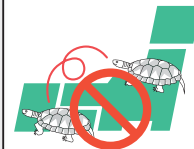
川の水を汚さ  
ないよう、ご  
みを川に捨て  
ないようにし  
ましょう。

生きものを捨てない



ペットは最期  
まで責任をも  
って飼いましょ  
う。

生きものを移動させない



外来種を他の  
地域に移動さ  
せないように  
しましょう。

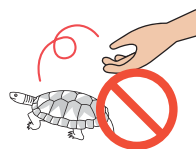
外来種対策活動に参加する



外来植物の  
駆除活動など、  
外来種の対策  
活動に参加し  
ましょう。

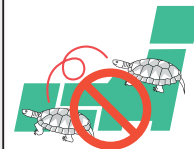
### 川の生態系を保つためには…

生きものを捨てない



ペットは最期  
まで責任をも  
って飼いましょ  
う。

生きものを移動させない



外来種を他の  
地域に移動さ  
せないように  
しましょう。

外来種対策活動に参加する



外来植物の  
駆除活動など、  
外来種の対策  
活動に参加し  
ましょう。